動物実験に関する自己点検・評価報告書

愛媛県立医療技術大学動物実験委員会

令和 7 年 3 月

I. 規程及び体制等の整備状況

1. 機関内規程

1) 評価結果
<ul style="list-style-type: none">☒ 研究機関等における動物実験等の実施に関する基本指針（以下「基本指針」という）に適合する機関内規程が定められている。☐ 機関内規程は定められているが、一部に改善すべき点がある。☐ 機関内規程が定められていない。
2) 自己点検の対象とした資料
公立大学法人愛媛県立医療技術大学動物実験実施要領 公立大学法人愛媛県立医療技術大学動物実験等規程
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。）
機関内規定が適正に定められている。
4) 改善の方針、達成予定時期
該当せず。

2. 動物実験委員会

1) 評価結果
<ul style="list-style-type: none">☒ 基本指針に適合する動物実験委員会が置かれている。☐ 動物実験委員会は置かれているが、一部に改善すべき点がある。☐ 動物実験委員会は置かれていない。
2) 自己点検の対象とした資料
公立大学法人愛媛県立医療技術大学動物実験委員会規程 公立大学法人愛媛県立医療技術大学動物実験実施要領 公立大学法人愛媛県立医療技術大学動物実験等規程 動物実験委員会議事録
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。）
動物実験委員会が適正に運営されている。

4) 改善の方針、達成予定時期

該当せず。

3. 動物実験の実施体制

(動物実験計画書の立案、審査、承認、結果報告の実施体制が定められているか?)

1) 評価結果

- 基本指針に適合し、動物実験の実施体制が定められている。
- 動物実験の実施体制が定められているが、一部に改善すべき点がある。
- 動物実験の実施体制が定められていない。

2) 自己点検の対象とした資料

公立大学法人愛媛県立医療技術大学動物実験委員会規程

公立大学法人愛媛県立医療技術大学動物実験実施要領

公立大学法人愛媛県立医療技術大学動物実験等規程

動物実験等並びに実験動物の飼養及び保管マニュアル

動物実験委員会議事録

動物実験に係る書類一式(1)～(8)号

3) 評価結果の判断理由(改善すべき点があれば、明記する。)

動物実験規程が適正に定められている。

4) 改善の方針、達成予定時期

該当せず。

4. 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制

(遺伝子組換え動物実験、感染動物実験等の実施体制が定められているか?)

1) 評価結果

- 基本指針に適合し、安全管理に注意を要する動物実験の実施体制が定められている。
- 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制が定められているが、一部に改善すべき点がある。
- 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制が定められていない。
- 該当する動物実験は、行われていない。

2) 自己点検の対象とした資料

公立大学法人愛媛県立医療技術大学動物実験等規程

公立大学法人愛媛県立医療技術大学組換えDNA実験安全管理規程

3) 評価結果の判断理由(改善すべき点があれば、明記する。)

動物実験規程が適正に定められている。

4) 改善の方針、達成予定時期

該当せず。

5. 実験動物の飼養保管の体制

(機関内における実験動物の飼養保管施設が把握され、各施設に実験動物管理者が置かれているか?)

1) 評価結果

- 基本指針や実験動物の飼養及び保管並びに苦痛の軽減に関する基準（以下「飼養保管基準」という）に適合し、適正な飼養保管の体制である。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

2) 自己点検の対象とした資料

公立大学法人愛媛県立医療技術大学動物実験等規程
公立大学法人愛媛県立医療技術大学動物実験実施要領
動物実験等並びに実験動物の飼養及び保管マニュアル
動物実験施設災害マニュアル
小動物管理室入退室記録簿
動物実験委員会議事録

3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。）

動物実験規程が適正に定められている。

4) 改善の方針、達成予定時期

該当せず。

6. その他（動物実験の実施体制において、特記すべき取り組み及びその点検・評価結果）

より適正な動物実験に関する教育と研究の実施を図るため、公私立大学実験動物施設協議会に入会した。

II. 実施状況

1. 動物実験委員会

(動物実験委員会は、機関内規程に定めた機能を果たしているか?)

1) 評価結果

- 基本指針に適合し、適正に機能している。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

2) 自己点検の対象とした資料

動物実験委員会議事録

3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。）

公立大学法人愛媛県立医療技術大学動物実験実施要領、公立大学法人愛媛県立医療技術大学動物実験等規程、公立大学法人愛媛県立医療技術大学動物実験委員会規程、小動物管理室における微生物学的統御に関する指針に基づき、適正な活動を実施している。

る指針に基づき、適正な活動を実施している。

4) 改善の方針、達成予定時期

該当せず。

2. 動物実験の実施状況

(動物実験計画書の立案、審査、承認、結果報告が実施されているか?)

1) 評価結果

基本指針に適合し、適正に動物実験が実施されている。

概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。

多くの改善すべき問題がある。

2) 自己点検の対象とした資料

動物実験計画書

動物実験計画承認報告書

動物実験年度報告書

動物実験委員会議事録

3) 評価結果の判断理由 (改善すべき点や問題があれば、明記する。)

動物実験計画書の立案、審査、承認、結果報告が適正に実施されている。報告書の回収率は100%である。

4) 改善の方針、達成予定時期

該当せず。

3. 安全管理を要する動物実験の実施状況

(当該実験が安全に実施されているか?)

1) 評価結果

基本指針に適合し、当該実験が適正に実施されている。

概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。

多くの改善すべき問題がある。

該当する動物実験は、行われていない。

2) 自己点検の対象とした資料

動物実験年度報告書

動物実験委員会議事録

3) 評価結果の判断理由 (改善すべき点や問題があれば、明記する。)

適正に実施されている。

4) 改善の方針、達成予定時期

該当せず。

4. 実験動物の飼養保管状況

(実験動物管理者の活動は適切か? 飼養保管は飼養保管手順書等により適正に実施されているか?)

<p>1) 評価結果</p> <ul style="list-style-type: none"> ☒ 基本指針や飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。 ☐ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 多くの改善すべき問題がある。
<p>2) 自己点検の対象とした資料</p> <p>動物実験年度報告書</p> <p>公立大学法人愛媛県立医療技術大学動物実験等規程</p> <p>実験動物の飼養及び保管マニュアル</p> <p>小動物管理室における微生物学的統御に関する指針</p> <p>令和6年度微生物モニタリング結果</p>
<p>3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。）</p> <p>適正に飼育保管が実施されている。遺伝子組換え動物に関しては、動物実験委員会の委員長が遺伝子組換え委員会の委員を兼任しており、情報共有がしっかりできている。</p>
<p>4) 改善の方針、達成予定時期</p> <p>該当せず。</p>

5. 施設等の維持管理の状況

(機関内の飼養保管施設は適正な維持管理が実施されているか？修理等の必要な施設や設備に、改善計画は立てられているか?)

<p>1) 評価結果</p> <ul style="list-style-type: none"> ☒ 基本指針や飼養保管基準に適合し、適正に維持管理されている。 ☐ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 多くの改善すべき問題がある。
<p>2) 自己点検の対象とした資料</p> <p>動物実験年度報告書</p> <p>公立大学法人愛媛県立医療技術大学動物実験等規程</p> <p>動物実験施設災害マニュアル</p> <p>小動物管理室における微生物学的統御に関する指針</p> <p>令和6年度微生物モニタリング結果</p> <p>動物実験委員会議事録</p>
<p>3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。）</p> <p>飼育保管施設は、適正に維持管理が実施されている。</p>
<p>4) 改善の方針、達成予定時期</p> <p>該当せず。</p>

6. 教育訓練の実施状況

(実験動物管理者、動物実験実施者、飼養者等に対する教育訓練を実施しているか?)

1) 評価結果 ☒ 基本指針や飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。 ☐ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 公立大学法人愛媛県立医療技術大学における動物実験教育訓練実施状況 (令和6年度) (参加人数 本学学生 28 人と高校生8人、実施回数2 回)
3) 評価結果の判断理由 (改善すべき点や問題があれば、明記する。) 実験動物管理者、動物実験実施者、飼養者等に対する教育訓練が適正に実施されている。学生への教育訓練に関しては、新入生に対して動物実験委員会が主催する年に1回の教育訓練(テストを含む)の受講を義務化し、全員が受講している。動物実験委員会委員長および実験動物管理者の教育訓練に関しては、公私動協が主催する実験動物管理者の教育訓練を受講し、修了している。また、その他の委員に関しては、教育動画の視聴とAPRINの受講を義務化している。
4) 改善の方針、達成予定時期 該当せず。

7. 自己点検・評価、情報公開

(基本指針への適合性に関する自己点検・評価、関連事項の情報公開を実施しているか?)

1) 評価結果 ☒ 基本指針や飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。 ☐ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 公立大学法人愛媛県立医療技術大学動物実験等規程 公立大学法人愛媛県立医療技術大学ホームページ
3) 評価結果の判断理由 (改善すべき点や問題があれば、明記する。) 自己点検・評価、情報公開は適正に実施されている。
4) 改善の方針、達成予定時期 該当せず。

8. その他

(動物実験の実施状況において、機関特有の点検・評価事項及びその結果)

動物実験委員会委員と実験責任者が定期的に会合し、動物実験の実施状況について情報を交換している。

公立大学法人愛媛県立医療技術大学における動物実験委員会の構成

動物実験に関して優れた見識を有する者：保健科学部臨床検査学科教授（専門 免疫学）
保健科学部臨床検査学科准教授（専門 生理学）
実験動物に関して優れた見識を有する者：保健科学部臨床検査学科助教（専門 免疫学）
その他の学識経験を有する者：保健科学部臨床検査学科准教授（専門 血液学）
保健科学部看護学科講師（専門 基礎看護学）
保健科学部看護学科講師（専門 老年看護学）
保健科学部看護学科助教（専門 成人看護学）

令和6年度動物実験年度報告書の一覧は別紙のとおり